

討議資料

宇田川よしひで

市議会ニュース

vol.81
2019年9月



「沢山の人の沢山の幸せを見たいから
今までもそしてこれからも頑張ります」

令和元年 第3回

9月市議会定例会

市政に関する報告

所信と報告から

令和元年9月3日～

9月27日までの25日間

市長提出議案

9月議会提出議案は、予算議案4件、条例等の一般議案43件です。

予算議案については、一般会計において、住民基本台帳管理費等に係る16億1356万5千円の補正、特別会計では、介護保険事業特別会計をはじめ2会計で、710万3千円の補正、また、企業会計では、下水道事業会計において、3600万円の減額補正。

一般議案については、「川口市印鑑条例の一部を改正する条例」など、条例議案23件、契約議案6件、専決処分の承認議案2件、市道路線の認定及び廃止議案5件、決算認定議案3件、人事議案4件です。

聖火台の展示について

1958年に川口鋳物によって製作された聖火台は、先の東京オリンピックを始めとする数々の感動の舞台を、旧国立競技場のシンボルとして見守ってきたものであり、川口市民、そして川口鋳物師の誇りがあります。旧国立競技場が解体されたのちは、東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県石巻市に貸し出され、その後、岩手県での展示を経て、現在は福島県に移設され、復興のシンボルとして被災地の皆さんの心の支えとなっています。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を来年に控え、聖火台が本市に展示されることとなりましたことから、10月6日にキュポラ広場において、記念式典を開催し、来賓の方々、市民の

皆さんが見守るなか、聖火台に点火し、聖火台がこれまで果たした役割に感謝するとともに、61年振りの里帰りを温かく迎えたいと考えています。

また、聖火台は、市民の皆様はもとより、市外の大勢の皆様にもご覧いただけるよう来年3月まで展示します。

この機会を捉え、ものづくりのまち川口を発信するとともに、さらには、埼玉県のスタートとして本市を発する来年7月の聖火リレーも皆さんと一緒に成功に導き、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成に繋がっていきたいと思います。



この聖火台は青木町平和公園に設置されているもので、レプリカです。川口駅キュポラ広場には東京オリンピックで使用された本物が展示されます。

構造改革特区に 関する提案について

本市中央部に広がる市街化調整区域は、古くから植木を中心とする花きや、造園等の、本市のブランドを形成する緑化産業が盛んであり、良好な自然環境を有する緑地の保全を目的とする首都圏近郊緑地保全法に基づく安行近郊緑地保全区域にも位置付けられています。

しかしながら、近年では、農業従事者の高齢化や担い手不足、周辺地域の市街化の進展、交通インフラの整備などを背景に、建築行為を伴わない資機材・残土置き場や墓地、駐車場等への無秩序な土地利用が進行しており、今後、さらに緑農地の減少が見込まれていると

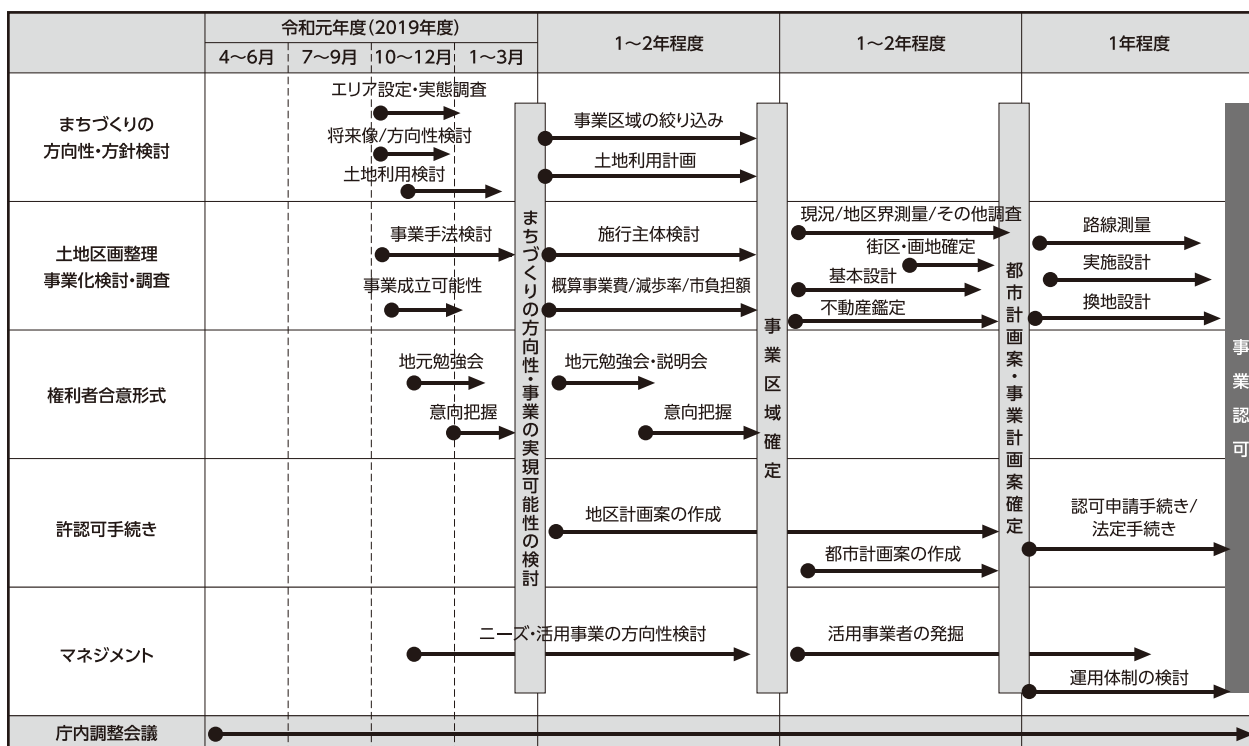
そこで、駅周辺に相応しい土地利用がされていない新井宿駅、戸塚安行駅周辺の市街化調整区域において、現在は認められていない市施行での区画整理事業による都市基盤整備ができるよう、昨年末、内閣府に対し、構造改革特区の提案を行ない、国からも実現に向け検討を進めるとの回答をいただいているところです。

この提案は、両駅周辺の計画的な土地利用を効果的かつ効率的に実施できるようにするとともに、本市に残された貴重な緑農地の保全に資する良好なまちづくりの実現に寄与するものです。

今後は、関係権利者への意向調査や、国・県など関係機関との協議・調整を図り、新たなまちづくりの実施に向け、鋭意努めていきます。

都市基盤整備・防災力向上特別委員会
資料4-3

SR新井宿駅及び戸塚安行駅周辺地区 事業化検討スケジュール(工程案)



SR新井宿駅及び戸塚安行駅周辺地区 区域図



幼児教育・保育の 無償化について

保育所の待機児童解消を図るため、これまでに民間保育所の施設整備に係る市独自の補助制度の実施や、私立幼稚園長時間預かりを推進するなど、保育ニーズにあった環境の整備を進め、子育て世帯への支援策充実に取り組んできたところです。

こうした中、10月から国の少子高齢化対策のひとつとして、幼児教育・保育の無償化が開始されます。保育所、幼稚園、認定こども園等を利用する3歳児から5歳児までの全ての子どもと、0歳児から2歳児までの市民税非課税世帯の子ども利用料が無償化されるもので、子育てに係る負担軽減を図るとともに、質の高い幼児教

育・保育の機会が保障されるところです。

制度の円滑な実施に向け、無償化に伴う新たな事務手続きへの対応など、保育所及び幼稚園事業者への説明会の開催や、保護者の皆さんにはホームページや広報紙への掲載により周知を図っています。

本市が、今後も若い世代の皆さんから選ばれ続けるまちであるため、保育需要に適切に対応するとともに、保育の質の確保に留意するなど、子育て、保育環境のさらなる充実に向け鋭意取り組みます。



中高一貫校の設置について

中高一貫校は、高校受験の影響を受けずに、6年間を見通した計画的・継続的な教育課程を展開することにより、生徒の個性を伸ばすとともに、優れた才能を発見し、幅広い年齢の集団活動により、社会性や豊かな人間性が育まれるなど、これからの社会を担う、様々な分野で活躍できる人材を輩出できると考えています。

また、本市の子どもたちが市外の私立や国立の中学校に進学している現状もあり、今回設置する中高一貫校では、最新の施設・設備で、グローバルな視野を育成するための国際理解教育や大学との連携による科学技術教育を行なうことなどにより、本校が選ばれる学校となるよう教育環境を整備していきます。

令和3年4月の開校に向け、この秋から、市内の児童・保護者を対象とした学校説明会を開催するなど準備を進めていく予定です。

今議会に、中高一貫校を設置するための条例議案が提出され可決されました。

危険な交差点への

緊急安全対策について

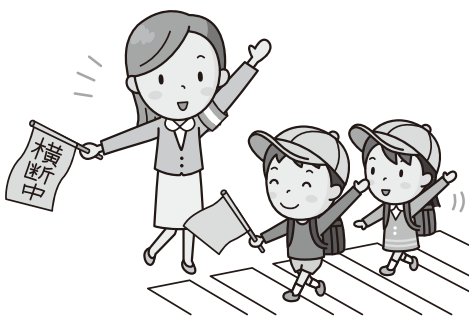
今年5月、滋賀県大津市で保育園児等を巻き込んだ痛ましい交通事故が発生しました。この事故後、保育所等に通う子どもたちの散歩経路の緊急安全点検と歩道がある市道幹線道路の交差点を対象とした現況調査を行いました。

これらの調査の結果と警察からの事故多発交差点の情報とを合わせると、歩行者の安全対

策が十分とはいえない交差点が約150箇所にも及びましたことから、このような事故が二度と起こらないよう、早期に万全を期すため、予算を専決処分し、ガードポール等の設置など安全対策工事に切り掛かったところです。

なお、今議会で、関連する補正予算の専決処分の承認をしました。今後とも、市民の皆さんの暮らしの安全・安心をさらに高める取り組みを進めます。

※これまでのレポートは市長の所信と報告を抜粋・加筆して作成しております。



編集発行

川口市議会議員

宇田川 好秀

埼玉県川口市安行1117

TEL.048-294-3131 FAX.048-296-7070

印刷/コスモプリンツ株式会社

市政情報
発信



<http://gakkainavi.com/udagawa/report.html>

活動情報を掲載！
ブログも随時更新！

宇田川レポート更新中!!